

■シーン(01) 後輩パート

	(効果音) ドアをノックする音
後輩が部室に現れる	(効果音) スライド式のドアを開く音
	失礼します、先輩♡ ……あれ、今日の同好会は私たち二人だけなんですね。
主人公に近づいてくる	(効果音) 足音
	あっ、また女の子が出るゲームやってる。 美少女ゲームって言うんでしたっけ、そういうの。 ん～……ここ、ゲーム同好会ですもんね。 別に邪魔はしませんけど……。 どうせゲームをするなら、可愛い女の子と 一緒にプレイした方が楽しくないですか？ ほらほら、こっちの格闘ゲームとか面白いんですよ。 ……えっ。 生身の女の子なら間に合ってる……？
	(少しの間)
	……えっ、えっ、ウソ。 彼女ができたんですか……先輩に？ うっわあ、ビックリ……。 先輩、ちゃんと現実の女の子にも興味あったんですねえ。 あはは、失礼なコト言っちゃってすみません。 でも……くすっ、そっか、そっか。 先輩って彼女持ちになったんだあ……♡ ……なんでそんなに愉しげなのかって？ それは、その～…… 尊敬する先輩に春が訪れたワケですから！ 後輩としては嬉しいんですよ、ええ♡ で、誰とお付き合いしてるんです？ この学校の人ですか？？
	(少しの間)
	……へえ～、同じクラスの先輩さんで。 大人しい地味な雰囲気の子なんだけど、 前々から気になっていて。 勇気を出して告白したらオッケーをもらえた、と。 ふふっ、それはそれは。 生粋のオタクなのに頑張りましたねえ、先輩♡ それじゃあ、私も陰ながら応援しておきます。 上手く関係が続くといいですね……♡

くすっ……。

■シーン(02) 彼女パート

	<p>ごめんね、待たせちゃった？ お昼休みの時間減らしちゃったね。 ……うん、わざと教室を出る時間をずらしたの。 その、私とキミが付き合っていること…… クラスみんなに知られるのは、まだ恥ずかしいし……。 ……あっ、そ、そうだ！ それでね、今日はお弁当を作ってみたの。 キミっていつも学食とか菓子パンばかりでしょ？ さあ、一緒に食べよっか♡</p>
	(少しの間)
少し心配そうに	<p>……どう、かな？ お口に合ってるといいんだけど……。</p>
	(少しの間)
安堵しながら	<p>……ふふっ、良かったあ。 お付き合いを始めてから日が浅いのに、 お弁当なんてちょっと重たいかなって思ったんだけど…… 喜んでもらえてホントに良かった。 じゃ、じゃあ、また作ってくるね……♡</p>
	(少しの間)
	<p>あっ、そうだ。 キミって確かゲーム同好会に入ってるんだよね。 私、その手のモノにあんまり詳しくなくて…… 普段はどんなゲームをしてるのかな？</p>
	(少しの間)
	<p>……レースゲームに格闘ゲーム。 そっかあ、同好会の人たちと そういうので対戦とかしてるんだね、きっと。 ふふっ、ちょっと楽しそうかも。</p> <p>ゲーム同好会、私も今度覗いてみようかな……。</p> <p>……ど、どうしたの、急に慌てて？ あっ……そっか、私みたいな素人がいきなり来たら、 同好会の人たち困っちゃうよね。 それに、一緒に活動だと私たちが 付き合っていることがバレちゃうかもだし……。 やっぱりやめておいた方が良さそう。</p>

でも、そのうち……キミがゲームをしているところ、
見せてくれると嬉しいな。
そ、その……か、彼氏……の好きなものは、
私も知りたいから……♡

■シーン(03) 後輩パート

興味津々といった感じ	<p>……で、先輩。 あれから彼女さんとはどこまで進んだんですか？</p> <p>あははっ、そんなにキョドないでくださいよ〜♡ 一応先輩に気を遣って、こうして同好会で 二人きりになるタイミングで聞いてるんですから。 それで、どうなんです？</p>
	(少しの間)
	<p>ふふ、ふふふっ。 その様子だとキスもまだっぼいですね。 モチロンわかりますよお、こうしてお話してても 生身の女の子に慣れてないのバレバレですもん。</p> <p>……実はですね。 この前、先輩と彼女さんが 一緒にお昼食べてるトコロ、目撃しちゃったんですよ。 くすくすっ、大丈夫です。 別に誰かに言いふらしたりとかしませんので♡</p> <p>ただ、お二人の距離感が少し微笑ましくって。 きっと彼女さんの方も、 男の子とのお付き合いに慣れてないんですね。 ……ダメですよお、先輩。 それなら尚更、男性の方がリードしてあげないと！</p> <p>でも……くすっ。 二次元の女の子に思春期を捧げてきた先輩には、 チョット難易度高いのかなあ……？</p> <p>えっ、そんなことはない？ そろそろ仲を進展させて見せる……？</p> <p>ふ〜〜ん。 そうですか、そうですか。 じゃあ先輩がオトコを見せるのを期待してますね♡</p> <p>……その方が私としても面白いので。 くすくすくすっ……♡</p>

■シーン(04) 彼女パート

夜の街中でデート中	(効果音) 街の雑踏
	<p>さっきのお店、すごく良かったね。 お料理も美味しかったけど、雰囲気がとっても素敵で。 ……きっと色々と下調べして手配してくれたんだよね。</p> <p>普段、お互いに制服姿でしか 会ってないから、なんだか新鮮。 こうしてお休みの日に私服で待ち合わせて、 ショッピングや食事を楽しんで……。 ふふっ、本当に付き合ってるんだね、私たち。</p> <p>その……変な話なんだけど、今になって 実感が湧いてきちゃった……。</p>
	(少しの間)
公園まで歩く	(効果音) 足音
少し緊張した雰囲気	<p>……あはは、なんか無言で公園まで歩いてきちゃったね。 この公園、夜になるとこんなに静かなんだ。</p> <p>……。</p> <p>……えっと。 どう、しょうか……。</p>
	(少しの前)
	<p>えっ……キ、キスしたい……って。 そ、その……あの……。</p>
	(少しの前)
	<p>……キ、キミって結構攻めてくるんだね。 学校ではあんなに真面目で大人しいのに……。</p> <p>で……でも、いいよ。 私たち付き合ってるんだから、 キスくらい……当然だよな。</p> <p>あ、あはは、でもどうしよう、すごい緊張してる……。</p> <p>……。</p> <p>……んっ、う。</p>
	(キスを交わす)
キスの吐息	ん……ふ、う……。

	……んっ。
	(少しの間)
少し高揚しながら	<p>……っ。 はぁ……はぁ……♡</p> <p>し、しちゃったね……私たち。 キス、しちゃった……♡</p> <p>や、やだなー、まだ心臓がドキドキしてる。 その……男の子とこういうことするの、 初めてだったから……。</p> <p>キ……キミは、どうなの……？</p>
	(少しの間)
	<p>……そっか、キミも初めてだったんだ。 ふふっ、私が初めての相手、かぁ。</p> <p>じゃあ……えっと。 これからも二人で色んなコト出来ると嬉しいな……♡</p>

■シーン(05) 後輩パート

愉快そうな雰囲気	<p>……へえ～、それでデートをして、 夜の公園でキスまで済ませた、と。 くすっ、なかなか頑張りましたねえ、先輩。 けど……どうせなら、そのまま最後まで イッちゃえば良かったのに。</p> <p>……あはは、冗談ですよお。 さすがに先輩にはハードルが高すぎですよ♡</p> <p>それでどうだったんですか、彼女さんとのキスは。 お互いに初めて同士で上手くできました？</p>
	(少しの間)
	<p>……くすっ、そうですか。 緊張してたけど、ちゃんと彼女さんを リードできたんですね。</p> <p>柔らか～い、彼女の唇。 そこから漏れる、熱を帯びた吐息……。 ふふふ、生身の女の子の 良さを知ってしまったワケだぁ……♡</p>

	<p>ん〜……。</p> <p>……ああ、いえいえ。 ちょっと考え事をしていたんです。</p> <p>その、なんて言うか……。 私だったら、もっともっと生身の女の子の良さを 教えてあげられるのにな〜、って思っ♡</p> <p>ねえ、先輩。</p> <p>もし良かったらあ……私ともキスしてみませんか？</p>
	(少しの間)
	<p>ふふっ、そんなに取り乱さないでください。 私ね、結構キスは得意なんですよ。 彼女さんの唇と、どっちが好みか…… 比べてみてください♡</p>
少しずつ近づいてくる	(効果音) 足音
ゆっくり言い聞かせるように	<p>ほら、逃げないで。 大丈夫ですよ、キスなんて挨拶みたいなものです。 それに……私、先輩のコト結構スキですよ？</p> <p>これは、私が勝手にやっているコトですから。 先輩はそのままじっとしててくれればいんです……♡</p> <p>ねっ……？</p>
	(効果音) 衣擦れ音
ディープキスをしながら	<p>んふ、ん……んう……ちゅっ、ちゅっ……♡ くすっ……彼女さんとは、舌は絡ませてないですよね……？</p> <p>ちゅるっ……じゅるっ、ちゅるるっ……♡ ん、う……じゅるっ……こんな風に、 口の中に、舌を差し込んで……ちゅるっ、じゅるるっ…… お互いの唾液を絡ませ合う、濃厚なキス……♡</p> <p>どうですかあ……んっ、ちゅっ……♡ 彼女さんとの、唇が触れるだけの 控えめなキスも結構ですけど……ちゅるっ……♡ ちゅっ、じゅるっ……じゅるるっ……♡ こうして“体液交換”しちゃうのも刺激的でしょ……？ じゅるるっ……れろろっ……♡</p> <p>んふふっ……ほら、受け取ってください。</p>

	<p>私の唾液、口の中に注ぎ込みますよ……♡</p> <p>んっ……ちゅるっ……じゅるるっ…… ん、う、う……っ、じゅる、じゅるるるっ……♡</p> <p>はぁ、はぁ……♡ 飲み干してください、先輩。 その口の中にある、私の唾液……この私のカラダから作られた体液。 先輩のカラダの中に取り込むんです……♡ はい、“ごくん”してください。</p> <p>ごくんっ♡</p>
	(少しの間)
	<p>……ふふっ、ふふふっ。 よく出来ました、いい子ですね～♡</p> <p>ちゅっ……♡</p> <p>んふっ、ご褒美です……♡ ん、ちゅっ……ちゅううっ……♡</p> <p>先輩の上唇を、私の唇で“はむっ”と挟んで……。 あむっ、ちゅっ……♡ 大きな口を開けて、舌を絡ませ合いながら…… 今度は下唇も……はむっ♡</p> <p>くすくすっ……♡ 先輩の唇も、舌も、ぜ～んぶ味わっちゃった。</p> <p>ところで……初キスの感触って、まだ覚えてます？</p> <p>ふふふっ、彼女さんとのキス。 私で上書きされちゃったかもしれませんね……♡</p> <p>それにしても、なんだかすっごく興奮されてるようですが……。 もしかして、私とのキスの方が気持ち良かった……とか？</p>
	(少しの間)
	<p>……な～んちゃって♡ そんなワケないですよ！</p> <p>だって彼女さんは、先輩の方から告白してお付き合いを始めたんですから。</p>

	<p>自分から心を寄せて、初めてお付き合いをする恋人さん。そんな大切な人とのキスが、私の遊びみたいなキスで上書きされるはずないですよ♥</p> <p>……ああ、でも。 私としては、先輩と相性の良さを感じちゃいましたよ。もし彼女持ちじゃなければ……。</p> <p>……いえ、これ以上は言わないでおきます。 また彼女さんとのお話、是非聞かせてくださいね♥</p> <p>ふふふっ……♥</p>
--	---

■シーン(06) 彼女パート

	<p>……どうしたの、なにか悩みごと？ 最近、授業中も上の空みたいだけど……。 私でよければ相談に乗るよ。</p>
	(少しの間)
困った感じで	<p>あ、あの……そんなに唇を見られると恥ずかしいよ。 もしかして、この前のキスのこと……思い出してたの？</p> <p>……えっ、えっ。 もう一度キスしたい……？ だ、だめだよ、ここ学校だよ？ それに、もう少しでお昼休みも終わっちゃうし……。</p>
	(少しの間)
軽めのキスを交わす	<p>あ、諦めきれないって……。 うう……じゃあ、ちょっとだけ、だよ。</p> <p>んっ……ちゅっ……♥ ん、う……っ♥</p> <p>……っ。 は、はい、これでおしまい。 やっぱりまだ緊張しちゃうね、あははっ……。 それに比べて、キミの方は前より落ち着いてるね。</p> <p>……。</p> <p>……っていうより……。</p> <p>なんだか……。 “物足りない”って顔してるような……？</p>

	<p>あっ、ご、ごめん、なんでもない！ 変なコト言っちゃったね。 私がキスくらいで緊張しすぎなのかな、きっと。</p> <p>……あ、あれ、どうかした？ なんだか……瞳に熱が籠もってるよ……。</p>
	(少しの間)
恥ずかしがりながら	<p>も、もしかして、キスより もっと先に進みたい、とか……？</p> <p>だ、だめだよ、それは本当にだめ！ いくらなんでも、まだ早すぎるし…… 学校でこれ以上のことは出来ないよ。</p> <p>そっ……それに、ほら。 焦らなくても、時間は沢山あるんだから。 ゆっくりお互いのことを知って、 少しずつ関係を進めていきたい……かな。</p> <p>だから、ね？ そんなに急ぐのはキミらしくないと思うよ。</p> <p>……えっと、じゃあ教室に戻ろっか。 ほらほら、早くしないと午後の授業、始まっちゃうよ♡</p>

■シーン(07) 後輩パート

部室に入ってくる	<p>(効果音) ドアをノックする音 (効果音) スライド式のドアを開く音</p>
	<p>失礼しまーす♡</p> <p>……あれ、先輩。 今日も独り寂しく美少女ゲームですか？</p> <p>そんな二次元の女の子に逃避しなくても、 先輩には可愛い彼女さんがいるじゃないですか～♡ なのにどうしちゃったんです、 そんな悶々とした顔しちゃって。</p>
	(少しの間)
愉快そうな雰囲気	<p>くすっ……くすくすくすっ♡ な～んて、原因は分かってるんですけどね。</p> <p>……先輩、またお昼休みに裏庭にいましたよね。</p>

	彼女さんとキスをしているところ、 しっかり目撃しちゃいました♡ ふふっ……想像以上に初々しいキスだったなあ。
ゆっくり近づいてくる	(効果音) 足音
	でも……先輩、嬉しそうじゃありませんでした。 会話は聞こえなかったけど、キスの後も なにか食い下がってましたもんね。 ふふふっ……。
ゆっくり近づいてくる	(効果音) 足音
すべてを見透かしている かのように	……満足、できなかったんでしょ？(笑) 大好きな彼女さんとの甘～いキスだったのに、 先輩は全然満足できなかった……♡ ……思い出しちゃったんですよね、私とのキスを。 お互いの舌をずるずる吸って、 たっぷりと唾液を絡め合った濃厚なキス……♡ そのせいで、先輩の唇は あんな稚拙な口づけじゃ満たされなくなった……。 先輩の、 彼女さんとの、 大切なキスの味は。 んっ……ちゅっ♡ ちゅるるっ……じゅるっ、れろろっ……♡ ……ん、ふっ……♡ くすっ……私とのキスで、 “上書き”されちゃったんです……♡ ……ねえ、先輩。 もっと“いいこと”してみたくないですか……？
ディープキスを交わしながら	
	(少しの間)
	ふふふっ、またキョドってる。 ホントは先輩も、生身の女の子と キス以上のことをしてみたいんでしょ？ 彼女さんにも、それを求めて 拒否られちゃった……違いますかあ？

	<p>……あの彼女さん、身持ちが固そうというか。真面目そうな雰囲気ですもんね。多分、お手軽な美少女ゲームと違って、カンタンには先に進めないんじゃないかな～。</p> <p>でもでも、先輩だってお年頃ですからお預けをされ続けるのも辛いですね。</p> <p>だから……私で良ければ、キスより気持ちいいコト、してあげますよ……♡</p>
背後から身を寄せる	(効果音)衣擦れ音
	<p>ほら、こうして先輩の背中にカラダを密着させて、後ろから手を伸ばして……。</p> <p>さっきから膨らませてるこの股間、手のひらでスリスリしちゃいます……♡</p>
服の上から股間を触る	(効果音)衣擦れ音
	<p>あはっ、ガチガチになってる。もしかして最初から期待してました？くすくすっ、彼女持ちのクセにいけないんだあ……♡</p> <p>それじゃ、ご期待通りに……すりすり、すりすり、すりすり……っ♡</p>
服の上から股間を触る	(効果音)衣擦れ音
優しく言い聞かせるように	<p>んふふっ、分かってます。撫でられるだけじゃ生殺し、ですね。ちゃ～んと“おてて”でシコシコしてあげますね。</p> <p>……あれれ、罪悪感ありますか？</p> <p>安心してください、これは私が勝手にやっていることなんです。先輩は痴女じみた後輩の毒牙にかかる、単なる被害者。なんにも悪くないんです……。</p> <p>そう、先輩は悪くない。全然悪くない……♡</p> <p>おちんぽを固くしてるのも、生理現象に過ぎません。彼女がいたって、こればかりはどうしようもないんです……♡</p> <p>……さあ、力を抜いて。これは浮気でもなんでもない、悪い後輩からの悪戯なんですから……♡</p>

	(少しの間)
	<p>くすっ、いい子ですね。 そのまま全身の力を抜いて、 股間にだけ意識を集中しててください。</p> <p>さあ、柔らかな手のひらを押しつけて、 股間を優しく揉みしだきながら……。 ゆっくりと、ファスナーを下ろしていきますよ……。♡</p>
	(効果音)衣擦れ音
	<p>ふふふっ、開いた♡ じゃあ、この中に細い指を滑り込ませて、 先輩のおちんぽを引っ張りだしちゃいます……。♡</p>
主人公の性器を取り出す	(効果音)衣擦れ音
背後から腕を回し、手コキを始める	<p>わっ、もう準備万端みたいですね。 んふふっ……。それじゃ、このまま背後から 竿を握りしめて……。</p> <p>はい、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>どうですか、生身の女の子の“おてて”は♡ 二次元の女の子は、こんなこと出来ないですよね……。♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>あ、でも。 彼女さんしてもらうのも難しいのかな？ 全然経験なさそうですもん。</p> <p>ふふっ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>けど、私なら悦ばせてあげられる。 ただ竿を擦るだけじゃないんですよ？ こうして……。指のお腹で、亀頭をぐにぐに刺激したり……。♡ 空いてる手の方で、袋も優しく揉んであげちゃう……。♡</p> <p>ぐにぐに、もみもみ、ぐにぐに、もみもみ♡ あはっ、先輩のおちんぽ、敏感で可愛いなあ♡</p> <p>……。ねえ、先輩。 私のカラダの感触、感じてもらえてますか？</p>
胸を押しつける	(効果音)衣擦れ音
優しく言い聞かせるように誘惑	<p>ほら、先輩の背中に私のカラダが密着してる。 柔らかい胸もいっぱい押しつけてるんですよ……。♡</p>

	<p>……そういえば彼女さん、 胸はあんまり大きくなさそうでしたね。 私だったら、この大きなおっぱいを好きなだけ 触らせてあげたのに……くすっ、ざ～んねん♡</p> <p>はいい、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>ふふふっ、腰が動いちゃいそうなら遠慮しないでいいですよ。 私の手の動きに合わせて、好きなように動いてください。 さっきも言ったように、これは私の悪戯なんです。 だから先輩も浮気だなんて思わずに、単に“センズリ”してる つもりで愉しんで。</p> <p>これは、私を……後輩を使ったオナニー。 そう思えばいいんです……♡</p> <p>さあ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡ 先輩の抜きやすい速さで、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡ 一生懸命、腰を動かして見せてください♡</p>
	(少しの間)
	<p>くすっ……可愛いですよ、先輩。 だんだん射精することで頭がいっぱいになってる。 こんな顔、彼女さんが見たらショックかもしれませんが…… 私はちゃ～んと見届けてあげますね♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>ふふっ、ふふふっ。 そろそろ私はシゴく手を止めようかな。</p> <p>指で輪っかを作る感じで、おちんぽを軽く握っておきますので。 あとは先輩自身が腰を振って、お好きに絶頂を迎えてください♡</p> <p>……私の“おてて”とセックスごっこをするんです、先輩♡</p> <p>はいっ、どうぞ♡ しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p>
	(少しの間)
	<p>ふふふっ、私の柔らかな手のひらに 好きなように竿を押しつけていいんですよ。</p>

	<p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p> <p>くすっ……多分、彼女さんは こんなコトはしてくれないと思いますけど、 いずれ本番を迎えるときが来るかもしれません。</p> <p>その時のために、腰を振る練習をしましょう♡ ねっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ～♡</p>
	(少しの間)
	<p>……男の人が絶頂に達する表情ってイイですね。 その瞬間は射精のことしか頭になくて…… 無防備で、無抵抗で、とっても可愛い♡</p> <p>私い……先輩のイキ顔を見たいです。 射精してください、私の前で。</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……っ♡ いいですかあ、私が”どぴゅー”って合図したら出してくださいね。 私、背後からぎゅっと抱きついて、 先輩の顔を間近で見えますから。 彼女さんも知らない恥ずかしい顔、たっぷり晒してください ……♡</p> <p>はい、しこしこ、しこしこ、しこしこっ♡</p>
	(少しの間)
	私の”おてて”の輪っかめがけて、 しこしこ、しこしこ、しこしこ～～♡
	(少しの間)
	くすくすっ、後輩に観察されながら、 しこしこ、しこしこ、しこしこ～～♡
	(少しの間)
射精を促すトドメという 感じの強めの”どぴゅー”	<p>いいですか、先輩。 イクんです、あなたは私の目の前でイクんです。 だらしのないイキ顔を晒して、情けない喘ぎを漏らして。</p> <p>はいっ、</p> <p>”どぴゅー————”♡♡♡</p> <p>”どぴゅぴゅ————”♡♡♡</p>
射精タイム	(少しの間)

愉快そうな雰囲気です	<p>……くすっ。 くすくすくすっ♡</p> <p>いっぱい出ましたねえ。 それに、先輩の顔もちゃ〜んと見届けました。</p> <p>先輩がオスになる瞬間がどんな表情なのか、 射精のときにどんな声で鳴くのか。 私、ぜ〜んぶ覚えちゃった……♡</p> <p>……でも安心して下さいね。 先輩が彼女さんとお付き合いするの、私からは一切邪魔しませんから。</p> <p>ただ、まあ。</p> <p>彼女さんよりも私の方が、カラダのお付き合いは 圧倒的に上手かな……なんて思います。</p> <p>あっ、でもそんなこと関係ないですよ！ 先輩と彼女さんは心でしっかりと繋がっているワケですから。 。</p> <p>……それじゃ、先輩。 私の悪戯にお付き合いいただき、ありがとうございました♡</p> <p>ふふふっ……♡</p>
------------	---

■シーン(08) 彼女パート

	<p>……あっ、キミもいま帰りだよ？ じゃあ一緒に帰ろっか♡</p>
帰路につく	(効果音) 足音
	<p>……でね、その映画がすごく面白そうなの。 今度一緒に観に行こうよ。</p> <p>……。</p> <p>えっと……どうしたの？ なんか私の手をじっと見てるけど……。 あっ、もしかして手を繋ぎたい、とか？</p> <p>ふふっ、そうだね。 学校からも結構離れたから、 誰にも見られないと思うし……。</p>

	じゃあ、はい……っ♡
	(少しの間)
少し緊張した雰囲気	<p>……あはは、やっぱりまだ気恥ずかしいなあ。 自分でも情けないなって思うんだけど、 その、男性の身体に触れるのって慣れてないから……。</p> <p>……うん、やっぱりキミも男の子なんだね。 私より全然大きくて、ごつごつとした手……♡</p> <p>あの……私の手は、どうかな……？</p>
	(少しの間)
	<p>そっか、柔らかくてすべすべで心地いいんだ。 それなら良かった……♡</p> <p>キミも……女の子の身体には、 触れ慣れてないんだよね。</p>
	(少しの間)
	<p>……？ ど、どうかした？ またこの前みたいに悩んだ顔してるけど……。</p> <p>そ、それに……えっと。 さっきから私の手を、さするように握ってるし……。 ちょっとくすぐりたい、かな……。</p> <p>……あ、全然イヤじゃないんだよ。 けど……キミ、もしかして なにか私に言いたいことがあるんじゃない……？</p>
	(少しの間)
	<p>……ん、言いたくないなら無理にはいいの。 でも、相談事とか頼み事があるなら何でも言ってね？</p> <p>私たち、お付き合いしてるんだからさ……♡</p>

■シーン(09) 後輩パート

主人公の報告を愉快そうに聞きながら	<p>……なるほどお。 それで、彼女さんと手を繋いだときに 私の“悪戯”のコトを思い出しちゃったと。</p> <p>ふふっ……彼女さんの手、柔らかかったですか？ 先輩のおちんぽを握った私の“おてて”と、</p>
-------------------	---

	<p>どっちの方が心地良かったのかなあ……♡</p> <p>でも、まだ手を繋ぐだけで 緊張しちゃうような段階なんですね。 このペースだと、彼女さんとイイコトできるのは 一体いつになるのか……。</p> <p>ああ、いえいえ♡ 先輩がたは清く真面目な交際をしているんですもんね。 別に身体の関係なんて急いで求めてない、 しばらくはこのままの関係でもいい……。 彼女さんも、きっとそう考えてるに違いありません。</p> <p>ただ……ふふふっ。 そうは言っても、溜まるモノは溜まっちゃいますよね。</p> <p>う〜ん、これは困りました……。</p>
	(少しの間)
挑発的な態度で	<p>……期待してるコト、してあげましょうか？</p> <p>くすくすっ、そんなに狼狽えなくてもいいのに。 私になにかを期待して、わざわざ自分から お話してくれたんでしょ？ だから、ご希望通りにしてあげるって言ってるんです。</p> <p>彼女さんはちょっと奥手というか…… 少し潔癖なところがあるみたいですけど、 私は全然平気ですよ。 男の子の下心は、ちゃんと分かってるつもりです……♡</p> <p>その証拠に、ほら。</p>
オナホコキの誘惑	<p>ふふっ、ちゃんとこんなモノまで用意しておいたんです。 分かりますよね、これがなんなのか。 ……そう、男性が自慰に使う道具…… “オナホ”ってヤツです♡ 今回はコレで先輩のおちんぽ、シコシコしてあげますね……♡</p> <p>あっ、流石に抵抗ありますか？ そうですね、これはちょっと前回の悪戯と違って、 彼女さんへの裏切りになっちゃうかも……。</p> <p>……そうだ！ なら、先輩はそこの椅子に座って 美少女ゲームの画面を見ててください♡ 知ってますよお、オタクな先輩のパソコンには、</p>

	<p>色々とエッチなゲームも入ってるってこと……♡</p> <p>先輩は二次元の女の子をオカズにして、 このオナホでオナニーをする。 そして、私は先輩の代わりに オナホを動かすお手伝いをするだけ。 くすっ……これなら裏切りでも、浮気でもありません♡ だって、先輩は別に私で興奮するワケじゃないんですから。</p> <p>……さあ、先輩。 お気に入りのオカズを画面に出して、 おちんぼ取り出してください。</p> <p>一回すっきりしちゃった方が、 彼女さんとも真摯に向き合えますよ？</p> <p>ほら……ねっ？</p>
主人公が脱ぐ	(少しの間)
	<p>ふふふっ、準備できました？ じゃあ始めますね。 先輩は私のコトは気にせず、画面に集中しててください。 私はそんな先輩の姿をじっくりと眺めながら、 このオナホでお手伝いをしますので♡</p> <p>まずはおちんぼに軽くローションを垂らして、と……♡</p>
男性器にローションを垂らす	(効果音) 水音
	<p>くすっ、もうガチガチになってる。 これならカンタンにオナホの中に入りそうですね……♡</p> <p>それでは……はい、挿入～♡</p>
オナホを男性器に挿入	(効果音) 挿入音
	<p>ふふふふっ♡ ひんやり冷たくって気持ちいいでしょ？ 穴の中にひだひだも沢山ついてますから、 これで擦ったらすっごく気持ちイイですよ～♡</p> <p>ほおら……、</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ、しこしこ～～～♡</p>
オナホコキ開始	(効果音) 水音
	<p>あんっ、だめですよ。 ちゃんと画面に集中してください。</p>

	<p>先輩の“お相手”は、私じゃなくて二次元の女の子。 じゃないと、浮気になっちゃいますよ？</p> <p>くすっ……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>先輩、彼女いない歴長そうですから。 きっとオナニーは得意なんですよ？ 私のことは気にせず……射精することで アタマいっぱいにしちゃってください♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこっ♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>んふふっ、楽しいですよ、オナニー。 先輩がちゃんと二次元の女の子で射精をすれば、 これは彼女さんへの裏切りではないんです。</p> <p>だから、気持ち良くなったって全然大丈夫。 な～んにも、悪いコトなんてしてない……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(効果音) 水音
主人公に同情するような 態度を見せながら	<p>……そもそも、彼女さんの方だって悪いんです。 年頃の男の子なんて、やりたい盛りなのに。 軽いキスやら、手繋ぎやら…… そんなところで足踏みしていたら、本当にナマ殺し。</p> <p>ああ、可哀想な先輩。 もう仕方ないんです、オナニーするくらい。 生理現象なんですから、仕方ない。</p> <p>しこしこ、しこしこ…… これは仕方ないこと、なんです……♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>……ふふっ、ちょっと失礼しますね。 空いている方の手を、先輩の上半身に滑り込ませて……。</p>
主人公の乳首に手を回す	(効果音) 衣擦れ音
愉快そうな雰囲気	<p>……くすっ、指で乳首をくりくりしちゃいます。</p> <p>はいっ、くりくり、くりくり、くりくり……♡</p>

	<p>くすくすっ……男の子でも、乳首を触られると固くなっちゃうんですね？身悶える先輩、とっても可愛いですよ♡</p> <p>でも、彼女さんには……こんな恥ずかしい姿は見せられないですね。向こうは、先輩に頼れる男性像を抱いていると思うので。</p> <p>こんな風にオナホでシコシコされて、乳首で悶えてる姿なんて。もし見られたら、きっと幻滅されちゃう……。</p>
	(効果音) 水音
	<p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♡ ふふふ、モチロン私は平気ですけどね♡</p> <p>……そう考えると、彼女さんとのお付き合いって大変そう。性欲を我慢して、必死に相手をリードして……ちょっと疲れちゃいそうですね。先輩は優しいから、大丈夫だと思いますけど……後輩としては、少し心配だなあ……♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>ふふっ、ゲームの画面は大して進んでないのに、おちんぼがビクンビクン脈打ってる。もう射精したくてたまらない感じですね……♡</p> <p>先輩ったら……私の声に反応して、勃起させちゃってますよね、これ。二次元で済ませないと浮気になっちゃうかも、って言ったのに。</p> <p>くすっ、どうします？ ……しこしこ、しこしこ、しこしこ♡</p>
	(効果音) 水音
	<p>射精、したいんでしょう？私に全部を見てもらいたいって考えてる……。</p> <p>……いいよ。</p> <p>先輩の恥ずかしい姿、私が見ていてあげる。彼女さんには見せられない、劣情にまみれた表情。私がすぐ傍で見つめててあげる……♡</p> <p>しこしこ……♡</p>

	<p>しこしこ……♡</p> <p>しこしこ……っ♡</p>
	(効果音)水音
	<p>出しちゃおうね、先輩。 おちんぼに溜め込んでるモノ、ぜ～んぶ出しちゃお。</p> <p>その方が彼女さんとも上手くいく……。 これは彼女さんのための射精、仕方のない射精……♡</p>
	(効果音)水音
ゆっくりと言い聞かせる ようなしこしこ	<p>後輩の女の子で興奮して、勃起させちゃってるけど。 別に本番をしてるワケでもないし、浮気なんかじゃない……。</p> <p>そう言い聞かせちゃえばいいよ、先輩……♡</p> <p>ほら、</p> <p>しこしこ……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(効果音)水音
ゆっくりとしこしこ	<p>ふふっ……じゃあ、前みたいに”どぴゅー”しようね。 オナホに射精するんだから大丈夫。 これはただのオナニー、 彼女さんへの裏切りなんかじゃない……♡</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(効果音)水音
少しずつ早くなるしこし こ	<p>どんどんシゴく速度を上げてくよ？</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ……っ♡</p>
	(効果音)水音
少しずつ早くなるしこし こ	くすっ、しこしこ、しこしこ、しこしこっ♡
	(効果音)水音
トドメと言わんばかりの 強い”どぴゅー”	<p>……はいっ、</p> <p>”どぴゅー——”♡</p> <p>”どぴゅぴゅー——”♡♡♡</p>

射精タイム	(少しの間)
	<p>……あはっ、ふふふっ。 たくさん出ましたねえ……オナホがどろっどろです。 これだけ射精すれば、しばらくは 彼女さんに対して性欲を抱かなくて済みますね？</p> <p>それと、このオナホは このまま先輩にプレゼントしちゃいます♡ ……そうそう、買うときに思ったんですけど、 これ……私のアソコの形にちょっと似てるんですね。</p> <p>くすっ……。 いえいえ、別に深い意味はありません。 是非、おうちに持って帰って“有効活用”してくださいね。</p> <p>それじゃ先輩、私はこの辺で。 また困ったことがあれば、いつでもお手伝いしますよ♡</p>

■シーン(10) 彼女パート

帰路についている最中	(効果音) 足音
少し不機嫌そうな雰囲気	<p>それで、今度キミさえ良かったら……って、聞いている？</p> <p>……なんだか最近、私と一緒にいても 上の空ってことが多いよね。 今もカラ返事ばかりだったし……。</p> <p>だから、今度ゲーム同好会を見学したいって言ったの。 私、ゲームとか全然詳しくないけど…… 少しでもキミと共通の話題を持ちたいなって思って。</p> <p>色んなジャンルのものがあるんでしょ？ 前に話してくれたレースゲームや格闘ゲーム。 キミがプレイしてるところ、見てみたい。</p>
	(少しの間)
疑念を持っている雰囲気	<p>……えっ。 私に見られるのは恥ずかしい……？ そう、なんだ……。</p> <p>……なんか恥ずかしいっていうより、 見られたくないって感じがするんだけど……。</p> <p>えっと……。</p>

	<p>私ね……前から気にかけていたように、 なにかキミには悩みごとがあるんだと思ってた。 ……でも、最近はそうじゃないのかなって感じてる。</p> <p>……あの、ね。</p> <p>もしかして……その。 私になにか隠し事とか、してる……？</p>
	(少しの前)
強く言い過ぎたかな、と 取り繕う感じ	<p>あっ、ご、ごめんね。 気のせいだったら別にいいの。</p> <p>ただ、最近のキミは妙によそよそしいっていうか。 私に遠慮してる気がして……。</p> <p>……今すぐに、じゃなくていいの。 もし私に言いたいことがあるのなら、 正直に話してくれると嬉しいな。</p> <p>そ、その……告白を受けた側だけど、 私もキミのこと、本気だから……。</p> <p>……あははっ、とりあえずこの話はここまで！ さあ、遅くならないうちに帰ろ？</p>

■シーン(11) 後輩パート

彼女との状況を聞いて愉 しそうな雰囲気	<p>……なるほど、なるほど。 彼女さんがこの同好会に興味を示している、と。</p> <p>くすっ、確かにそれは困っちゃいますよね。 この部室に入れるのすら怖いところです。 だって彼女さんの頭の中には、 多分“美少女ゲーム”っていう概念がないですもん。</p> <p>ん〜……ふふふ。 どうなんだろう、それ。</p> <p>ああ、いえいえ♡ 思ったんですけどお……彼女さん、 先輩がソレ系が好きなオタクだって知ったら。 きっと幻滅するんじゃないですかね……♡ 先輩だってそれを自覚してるから、当たり障りのない ゲームジャンルばかり持ち出してたんでしょ？</p>
------------------------	--

	<p>それに……くすくすっ。 美少女ゲームをプレイするどころか、 二次元の女の子でセンズリまでしちゃってるワケですし。</p> <p>そんな本性を知られたら完全にアウト。 オタクでもないフツーの女の子の目には、 さぞや変態さんに映っちゃうんでしょうね……♡</p> <p>……だとすると、これは大変です。 先輩は彼女さんとの交際を続ける限り、 自分を偽って生きていかなくちゃいけない……。 カミングアウトできるのは、 せいぜい“ただのゲーム好き”レベルまで。 『キミも好きだけど、二次元の女の子も好きなんだ！』 ……だなんて、真面目な彼女さんに 言うわけにはいきらないですから。</p> <p>困っちゃいましたね～、先輩……♡</p>
	(少しの間)
	<p>ふふふっ、思い悩んでるんですね。 可哀想な先輩……。</p> <p>……あ～あ、私だったら、 先輩にそんな思いはさせないんだけどなー。</p> <p>だってそうでしょ？ 美少女ゲームが好きなこと、二次元の女の子でシコッちゃう こと。 私はぜ～んぶ知ってます。</p> <p>ううん、それだけじゃない……。 他にも……。</p>
主人公に身を寄せる	(効果音)衣擦れ音
舌を絡めるディープキス	<p>んっ……ちゅっ。 んふ、ん……じゅるっ……♡</p> <p>……っはあ。 先輩の、唾液の味とか……。</p>
主人公の股間を撫でる	(効果音)衣擦れ音
キスを交わしながら思わせぶりに誘惑	<p>この……おちんぼのカタチや熱さまで。 彼女さん以上に、先輩のことを分かってるんです……♡</p> <p>私は先輩の趣味にも理解がある……。 私の前でなら、先輩はな～んにも偽らずに済む……♡</p>

	<p>ちゅっ……んふふっ……♡</p> <p>じゅるっ、ちゅるるっ……飲んで、私の、唾液……んっ♡</p> <p>じゅるるるっ……ちゅるっ♡</p> <p>……それに、彼女さんも酷いですよね。</p> <p>いつまでも、いつまでも“おあずけ”状態で。</p> <p>先輩は切ないおちんぽを抱えて、</p> <p>ず～っと悶々としてるのに……♡</p> <p>私なら……。</p> <p>自分の彼氏に、そんな思いはさせないんだけどな……♡</p>
	(少しの間)
“彼女を裏切る”ように仕向けていく	<p>……ねえ、先輩。</p> <p>もう裏切っちゃいましょうよ。</p> <p>彼女さんを裏切って、私を選んでくれたら。</p> <p>この場で、今すぐにセックスさせてあげます……♡</p> <p>私だって、先輩に好意があるから</p> <p>今まで色々と悪戯仕掛けてたんですよ……？</p> <p>好きじゃない男の子に、こんなに構ったりはしません……。</p> <p>いいですよ、裏切っても。</p> <p>私なら、先輩のすべてを分かってあげられる。</p> <p>二次元の女の子をオカズにシコシコしたって、別に軽蔑なんてしない……。</p> <p>オタクなままの先輩を、そのまま愛してあげます。</p> <p>な～んにも、気取る必要がないんです……♡</p> <p>……彼女さんを、裏切る。</p> <p>一言そう言ってくれるだけで、</p> <p>先輩は今日ここで、女の子を抱くことができるんですよ。</p> <p>だから言ってください。</p> <p>『 彼 女 を 裏 切 る 』</p> <p>って、ちゃ～んと口に出して。</p> <p>それ以外の言葉なんて聞かないですよ、私……♡</p> <p>さあ、私の言葉に続いて。</p> <p>『彼女を』</p>

	(少しの間)
ゆっくりと強く煽動する 感じで	『裏切る』……っ♡
	(少しの間)
主人公の態度に満足そう な雰囲気	<p>……ふふっ、ふふふふっ！ よく言えました〜♡ 嬉しいです、彼女さんより 私を選んでくれたんですね、先輩♡</p> <p>じゃあ、いいですよ。 ご希望通りに、先輩とひとつに繋がってあげる……♡</p> <p>えっ、この部室ですのかって？ くすっ……モチロン、その方が刺激的じゃないですか。 大丈夫、この時間ならどうせ誰も来ませんから♡</p> <p>先輩……ちゅっ。</p> <p>とりあえず、今日は美少女ゲームはおあずけ。 生身の女の子のカラダ、堪能してください……♡</p>
主人公に身を寄せる	(効果音)衣擦れ音
	<p>ふふっ……さっきから先輩のおちんぼは 準備万端ですもんね？</p> <p>ええ、分かってます。 先輩が童貞で、女の子の扱いにも慣れてないってこと。</p> <p>安心してください。 ぜ〜んぶ、私がしてあげますよ……♡ 先輩は椅子に座って、じっとしてるだけでいいんです……♡</p> <p>私は、そんな先輩の下半身に跨って……。</p>
主人公に跨る	(効果音)衣擦れ音
	自分から……下のお口で、 おちんぼ咥え込んでじゃいます……っ♡
挿入音	(効果音)水音
感じている雰囲気、行 為の主導権を握りながら	<p>あ……んっ♡ ……くすっ、繋がっちゃいました……。 先輩の童貞……ご馳走様です♡</p>

	<p>んっ……分かりますか、先輩？ おちんぽが根元まで、私の中に沈み込んで……♡ 繋がってるところ、しっかり見てください。 私たち二人のカラダ、完全にひとつになってます……♡ オトコとオンナの関係になっちゃったんですよ、 私たち……♡</p> <p>ふふっ、少し下半身をくねらせてみようかな……？</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>んっ、う、ん……っ♡ どうですかあ、おちんぽが私の肉に包み込まれて、 すっごくあったかいでしょ……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>先輩はいま、私のカラダの中にいるんですよ……。 私の体内で……私の体液に絡め取られてる……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あはっ、気持ちいいですね、先輩。 ほら……ゆっくりと腰を振ってあげます。</p> <p>んっ……はあ、はあ、はあ……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あ、んっ、ふふっ、おちんぽ、 どんどん固くなってる♡ 私の中が気持ちいいって、悦んでる……♡</p> <p>……彼女さんのこと、裏切って良かったですね。 彼女さんよりも、私の方が全然魅力的。</p> <p>そうですね……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>くすくすっ、カラダは正直に反応してる。 浮気して興奮しちゃうなんて、先輩ってば悪い子だなあ♡</p> <p>……でも仕方ないんです。 いつまで経ってもやらせてくれない彼女さんが悪い♡</p>
	(効果音) 抽送音
	<p>あんっ、んっ、あはっ♡ いいんですよ、もっと興奮して、もっと勃起させても。 先輩はな～んにも悪くない♡</p> <p>やりたい盛りの男の子が、こんな風に誘惑されたら。 彼女を裏切っちゃうのも……仕方ない……っ♡</p>

	(効果音) 抽送音
ゆっくりと自覚を促すように煽動する	<p>さあ、少しずつ腰を激しくしていきますよ。 先輩のおちんぽの竿、柔らかい肉壁で じゅぶじゅぶ擦ってあげる。</p> <p>……そうだ、もっと気持ちよくなるために、 先輩も協力してください♡ さっきみたいに、私の言葉を反芻するんです。</p> <p>いいですか、先輩……。</p> <p>『彼女よりも、後輩ちゃんの方が可愛い』</p> <p>ほら、言って♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
自覚を促すよう、改めてゆっくりと	<p>ふふふっ……もっとハッキリ繰り返して。</p> <p>『彼女よりも』</p> <p>『後輩ちゃんの方が可愛い』……っ♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
	<p>……そうそう、その調子です。 それじゃあ、次。</p> <p>『僕は、後輩ちゃんとの浮気セックスが大好きです』♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
	<p>……そう、これは浮気セックス。 彼女がいるのに、先輩はその子を裏切っちゃった……♡</p>
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
快楽を餌にして、決定的な言葉を宣告するよう促す	<p>でも、もう関係を結んじゃいましたから。 今さら元には戻れません……♡</p> <p>なので……先輩はこう言わなきゃいけない。</p> <p>『僕は、彼女と別れます』</p>

	<p>……言えますよね、先輩？ 言わないと射精させてあげない。 この中途半端なところで私とのセックスはおしまい。 せっかくアガってきた精子を抱え込んだまま、 悶々と帰り支度をしてもらいます……♡</p> <p>彼女がいなくても……私がいるじゃないですか、先輩。 これから私と”仲良く”したいですよね……♡</p> <p>……さあ、言っちゃいましょう。 自覚できるように一文字ずつ、</p> <p>『ぼ、く、は』。</p>
	(少しの間)
	『か、の、じょ、と』。
	(少しの間)
強く煽動する	……『わ、か、れ、ます』っ♡
	(少しの間)
今までで一番愉快そうな 感じで	ふふっ……ふふふふっ！ よく言えましたね、先輩♡
	(効果音) 抽送音
	いいですよ、射精してください♡ 彼女さんじゃなく……この私で発情して、 この私に射精するんです……っ♡
	(効果音) 抽送音
	あはっ、んふふっ♡ 吐き出してくださいね、先輩♡ 彼女さんのモノになるはずだった精子。 ぜ～んぶ他のオンナで消費しちゃいましょう♡
	(効果音) 抽送音
	あんっ、あ、ああ♡ きて、先輩、どぴゅーってきて♡
	(効果音) 抽送音
射精を促すトドメの”ど ぴゅー”	はいっ……、 『どぴゅー——』♡ 彼女さんを裏切って、他のオンナに 『どぴゅー————』っ♡♡♡
射精タイム	(少しの間)

ディープキスを交わしながら、”自分が初めての相手”だと強く認識させる	<p>……どうでしたか、先輩。 生身の女の子とのセックスは。 ほら……顔をこっちに寄せて、唇を出して。</p> <p>ちゅっ……じゅるるっ、ちゅるるっ……♡</p> <p>……っはぁ♡ よ〜く覚えておいてくださいね。 いま、目の前にいるオンナが。 先輩の童貞を奪ったオンナです。</p> <p>この私が、先輩の”初めての相手”。</p> <p>……これから先輩の人生がどうなろうと、 死ぬまでこの事実は変わりません。</p> <p>私の顔、私の声、私のカラダ。 全部をそのアタマに刻みつけておいて……♡</p>
	(少しの間)
	<p>……そうそう。 それと、彼女さんに対するケジメも しっかりしないとダメですよ♡</p> <p>ゲーム同好会を見たい、そうご希望なんでしたっけ。 くすっ……じゃあ、お望み通りにしてあげましょうか……♡</p>

■シーン(12) 共通パート

主人公と彼女が部室に向かう	(効果音) 足音
[彼女] 部室に案内される	<p>ここがゲーム同好会の部室？ こんなに奥まった場所にあるんだねー、知らなかった。</p> <p>……あの。 この前は変なこと言っちゃってゴメンね。 ほら、妙によそよそしい気がするとか…… 色々言っちゃったじゃない。 それで気を遣って、同好会の 見学をさせてくれる気になったんでしょ？</p> <p>ふふっ、でも楽しみだな。 私には関わりのなかった世界だし、 キミがどんな風に過ごしてるのか本当に楽しみ！</p> <p>……？</p>

	部室の扉は目の前だけど、どうしたの？ ぼーっと立ってないで早く入ろうよ♡
	(少しの間)
部室に入る	(効果音)スライド式のドアを開く音
[後輩ちゃん]	あっ、来た来た♡ 遅いですよお、先輩～。
[彼女] 戸惑いながら	えっ……？ あれ……キミ、確か今の時間は 自分一人だけって言ってなかったっけ……？ ええっと……。
[後輩ちゃん] 愉しげな雰囲気	くすっ……どうも初めまして♡ 私、ゲーム同好会に所属する後輩ちゃんです。 先輩にはいつも色々とお世話になってまーす♡
[彼女]	あっ、は、初めまして。 私はこの彼のクラスメイトで……。
[後輩ちゃん]	ええ、伺ってます。 先輩の彼女さん、ですよ。
[彼女] 驚きながら	……っ。 ちょっとキミ……この子に 私たちのこと話しちゃってるの……！？
[後輩ちゃん]	ふふふっ、先輩を責めないであげてください。 私が強引に話を聞き出しちゃったんです。 それに……もう“過去のお話”になっちゃうワケですし♡
[彼女]	えっ……？
[後輩ちゃん]	……先輩、勇気を出して よく連れてきてくれましたね♡ さあ、こっちに……私の隣に来てください♡
	(少しの間)
主人公が後輩ちゃんの横 に移動する	(効果音)足音
[彼女]	ちょっ……どうしたの、キミ……？ なんで私から離れて、その子の方に行くの……？
[後輩ちゃん]	くすっ……くすくすくすっ♡ やだなあ、彼女さんてば。 この場の雰囲気で、なんとな～く分かりません？
[彼女]	分かるって、なにを……。
[後輩ちゃん] 主人公とキスを交わす	だから、こういうコトですよお。 ……先輩、私の方を向いて。

	んっ、ちゅっ……♡ ちゅっ、ちゅっ……じゅるっ……♡
[彼女]	う、あっ……！？
[後輩ちゃん] 愉しげに舌を絡ませて	んふふっ……ちゅるるっ、 じゅるるるっ……れろっ……♡
[彼女]	……っ！
[後輩ちゃん]	……んっ、ふう。 また唾液の交換しちゃいましたね、先輩……♡
[彼女] 信じられない、といった ような呟き方で	う、うそ……こんな……。 な……なんなの、これ……っ？
[後輩ちゃん]	ふふっ……ごめんなさい、彼女さん。 申し訳ないんですけど、先輩はアナタより 私の方が好きなんですって。
[彼女]	……っ！！！！ う、うそっ……うそ……っ！
[後輩ちゃん]	もう、ウソ、ウソってそればかり(笑) ……見てくださいよ、ほら。 先輩の股間、キスをしただけでガチガチに勃起してます。 アナタじゃなくて、私で興奮してるんですよ♡
[彼女] 勃起した主人公を見て怯 えながら	ひ、う……っ！？
[後輩ちゃん]	くすっ、なに怯えてるんですか。 先輩くらいの歳の男の子なら、こうなるのは当然です。 そんなに初々しいから、 簡単にオトコを奪われちゃうんですよお♡
[彼女] 主人公に問いかける	う、う……！ ……そ、その子の言ってることは本当なの……？ キミは……私じゃなくて、その子のことが好きなの……？
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	くすっ……♡ いいですよ、先輩。 な～んにも悩まなくていいんです。 ほら、未練がましい彼女さんに、 先輩の全部を見せてあげましょう♡ まずはパソコンの画面を立ち上げて……っと。
[彼女]	……？
[後輩ちゃん] パソコンを立ち上げて、	……見てください、彼女さん。 こちらが先輩のゲーム同好会における活動で一す♡

エロゲーの画面を開く	
[彼女] エロゲーの画面を見せられて愕然としながら	……か、彼の活動って。 なに、そのパソコンの画面に出てるのは……？ 女の子の……それも、裸の女の子の絵……？
[後輩ちゃん]	あっ、もうちょっと控えめなシーンの方が良かったかな？ くすっ……真面目な彼女さんには、 18禁ゲームのCGは刺激が強いかも。
[彼女]	じゅ、じゅうはちきん……げーむ……！？
[後輩ちゃん]	そうですよお、先輩が大好きなジャンルのゲームです♡ 先輩はこういったゲームでオナニーするのがチョー得意♡
[彼女] 取り乱しながら	お、おなっ……！！？ そっ、そんな……だ、だって彼、 レースゲームとか格闘ゲームをしてるって……！
[後輩ちゃん]	そんなの、アナタと話を合わせるための ウソに決まってるじゃないですか～♡ 先輩としては、せっかく彼女ができたんですし、 早く距離を縮めて一線を越えたいですもんね。
[彼女]	……っ！！！！ うそ……うそ……っ！！！！
[後輩ちゃん]	ふふっ、ふふふふっ！ だからあ、な～んにもウソじゃないんですってば。 今から証拠を見せて差し上げますね……♡ ……先輩、お待たせしました。 お望みの“裏切りセックス”、 あの人に見せつけちゃいましょう♡
服を脱ぐ	(効果音)衣擦れ音
[彼女]	ひっ……な、なんなの……！？ あなた、なんで服を脱いで……！
[後輩ちゃん]	いいから、そこでじっとしててください。 恋人同士が愛し合うところ、特等席で“見学”させたげます♡ ……さあ、先輩もガチガチのおちんぽを 取り出してくださいね♡
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	……ちゃ～んと準備できましたか？ ほら、彼女さんにも見せてあげましょう。 はい、これが先輩のおちんぽですよ～♡
[彼女]	あっ……あ、あ……っ！？
[後輩ちゃん]	ふふふっ、先輩はまた椅子に座ってるだけでいいですよ。 私が上に跨って、ひとつに繋がっちゃいます。

	(効果音)衣擦れ音
[彼女]	<p>やっ、やだ……！</p> <p>ちょっと、待っ……！</p>
[後輩ちゃん]	<p>……だめでーす。</p> <p>もうこのおちんぽはアナタのモノじゃないの。</p> <p>先輩に選ばれなかったアナタは、</p> <p>指を咥えて見ててください……ねっ♡</p>
主人公と後輩ちゃんが肌を重ねる	(効果音)挿入音
[後輩ちゃん] 彼女に見せつけるように	<p>んっ……ふふふっ。</p> <p>見えますか、彼女さん。</p> <p>私のナカに……先輩のおちんぽ、</p> <p>ずぶずぶって入ってきてる♡</p>
[彼女]	あ、あああ……っ！
[後輩ちゃん]	<p>ほ～ら、ずぶずぶ、ずぶずぶ……♡</p> <p>根元までずっぷりと飲み込んであげますね、せーんぱい♡</p>
	(効果音)挿入音
[後輩ちゃん]	<p>……あはっ、ガッチリひとつになっちゃった。</p> <p>彼女さんもじっくり見学してくださいね。</p> <p>他人のセックスを間近で見れるなんて、</p> <p>とっても貴重な機会ですから♡</p>
[彼女] 愕然としながら	<p>だ、だめ、だめ……っ。</p> <p>かっ、彼から……彼から離れて……っ。</p>
[後輩ちゃん] ディープキスを交わしながら見せつけるように	<p>えー、なんでそんな酷いコト言うんですか？</p> <p>私たち、こんなに愛し合ってるのに♡</p> <p>ちゅっ……じゅるっ、ちゅるるっ……♡</p> <p>ん、先輩、舌出して……ちゅるっ、じゅるるっ……♡</p> <p>んふふっ……見てください、</p> <p>先輩だってこんなに無抵抗じゃないですか。</p> <p>私とのキスも、セックスも。</p> <p>ぜ～んぶ受け入れてくれてる……♡</p>
[彼女]	<p>うっ、う、う……っ！</p> <p>そんな……こんなの、うそだよね……？</p> <p>な、なにか、キミにも理由があるんでしょ……？</p>
[後輩ちゃん]	<p>くすっ、ですって。</p> <p>まだ認められないとか、ホント惨めな人ですよ。</p> <p>……じゃあ先輩、ご自分のお口から</p> <p>あの人に引導を渡しちゃいましょうっ♡</p> <p>上手に言えたらあ、ふふっ。</p>
	(効果音)抽送音

[後輩ちゃん]	<p>……こうして、いっぱい、いっぱい腰をくねらせて。 先輩のこと、愛してあげます……♡ 愛されたいですね、先輩。 私は先輩の“初めてのオンナ”なんですから……♡</p>
[彼女]	<p>……っ！ は、初めて……って……。</p>
[後輩ちゃん] ゆっくりと言葉を促す	<p>ふふっ……先輩、私の言葉を繰り返してください。 『ぼくは』、</p>
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『童貞を』、
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『後輩ちゃんに、捧げました』♡
	(少しの間)
[彼女] 信じられない、といった様子で	<p>あ、ああ……っ。 そん、な……どうして……。</p>
[後輩ちゃん]	<p>くすっ、私から持ちかけたんですよ。 彼女さんを裏切る……そう誓ったら、 セックスさせてあげるって♡</p>
[彼女]	<p>なっ……なに、それ……っ！？ まさか、キミ……それで……。</p>
[後輩ちゃん] ゆっくりと言葉を促す	<p>ええ、そうです。 先輩は快く誓ってくれたんです♡ ……先輩、その時に口にした宣言、 本人の前でもう一度しちゃいましょうか。 さあ、 『か、の、じょ、を』、</p>
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『う、ら、ぎ、る』っ♡
	(少しの間)
[彼女]	うあっ、あ、ああ……。
[後輩ちゃん]	<p>ふふふっ、いい子ですよ、先輩♡ これで分かってもらえましたか、彼女さん？ ……先輩は。 私のカラダが欲しくて、私と愛し合いたくて。 アナタを裏切ると決めたんです……♡</p>
[彼女]	……ひっ、ひどい……。

	こんなのって、ひどいよ……っ。
[後輩ちゃん]	くすくすっ……せ～んぱい、約束のご褒美ですよ～……♡ 腰をくねくねさせて、おちんぽを 根元から締めつけてあげます♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	私の顔をよく見て。 私で興奮してください、先輩♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] 言い聞かせるように	あんなオナなことなんて、もうどうでもいい♡ 先輩は私のことが、だ～い好き♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] ゆっくりと言葉を促す	……告白して、先輩。 ほら、 『僕は』、
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『彼女じゃなくて』、
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『後輩ちゃんを、愛してます』♡
	(少しの間)
[彼女]	あ……ああ……！
[後輩ちゃん]	……私も愛してますよ♡ んっ……ちゅっ……♡ じゅるっ、ちゅるるっ……♡ このまま……ちゅっ、キスをしながら、 ”どぴゅー”しましょうね♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] 舌を絡め合いながら	んふっ、じゅるっ、じゅるるるっ～～♡ 彼女さんも、ちゃ～んと最後まで見ててくださいね。 私と先輩が仲良く絶頂を迎えるトコロ♡
[彼女] 拒絶の呟き	いっ、いや……いや……！
[後輩ちゃん]	んっ、ちゅっ、ちゅうっ♡ っはあ……れろろっ、じゅるるっ……♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	……ぜ～んぶ混ぜちゃいましょう？ 唾液も、あそこのお汁も…… 私たちの体液を混ぜ混ぜしちゃうんです……♡

	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	……先輩、“後輩ちゃん愛してる”って囁き続けてください。 囁きながら精子を”どぴゅー”するんです……♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん] 優しく言い聞かせるように	囁いて、たくさん囁いて♡ 何度も何度も……彼女さんに聞かせてあげるの。 私も一緒に囁くよ。 せんぱい、だいすき♡ せんぱい、だいすき♡ せんぱい、だ～いすき……♡
	(効果音) 抽送音
[後輩ちゃん]	あはっ、先輩のおちんぼがナカで跳ねてる。 いいですよ……どぴゅーしてください♡ 彼女さんが見ている前で。 他の女の子に。
	(効果音) 抽送音
	(少しの間)
[後輩ちゃん] 射精を促すトドメの”ど ぴゅー”	はいっ、 どぴゅー————っ♡♡ どぴゅぴゅ～～～～っ♡♡
射精タイム	(少しの間)
[後輩ちゃん]	んっ、じゅるっ、ちゅるるっ♡ 唾液、交換しながら…… 最後までおちんぼ汁を吐き出すんです……っ♡ んふっ、ふふふっ♡ 見えてます、彼女さん？ 先輩、私でどぴゅどぴゅ射精しましたよ♡
[彼女]	あっ、う、うう……。
[後輩ちゃん]	ほ～ら……先輩は私で発情して、 私のために精子を作ったんです。 あ、んっ……私の穴、どろっどろにされちゃった……♡ ……じゃあ、先輩。 最後にケジメをつけよっか。

	い〜い、ちゃんと口にしてあげるんだよ。 『僕は』、
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『後輩ちゃんの、オトコになりました』♡
	(少しの間)
[後輩ちゃん]	『だから、あなたとは別れます』♡
	(少しの間)
[後輩ちゃん] トドメの一言を促す	くすっ……。 『さ、よ、う、な、ら』っ♡
	(少しの間)
[彼女] 軽蔑した雰囲気	さ、最低……こんなの、最低……っ。 キミがこんな人だったなんて……！ 言われなくても、こっちからサヨナラだよ……！ ……もう二度と話しかけないで……っ！！
	(効果音) 走り去る音
[後輩ちゃん]	……あははっ、逃げちゃった。 残念でしたねえ、先輩。 勇気を出して告白して、初めて出来た彼女さんだったのに。 くすっ……“私がいれば、もう別にいい”、ですか？ へえ、そんなに想ってくれちゃってるんだ。 う〜ん……ふふふ。 ……けど、遊び終えちゃったし。 どうしよっかなあ……。 ……ああ、いえいえ。 それでは私も今日はそろそろ帰るので。 さよーなら、先輩♡

■シーン(13) 後輩パート

	……ああ、先輩。 どうしたんですか〜？ ……くすっ、なんだか悶々とした表情。
--	--

	<p>そっか、彼女さんとは正式にバイバイしちゃいましたもんね。 ふふふっ……で、また私になにか期待してるワケですか。</p>
	<p>(少しの間)</p>
態度を豹変させながら	<p>ん～……。</p> <p>う～ん……ふふふ。 どうしよっかな～……。</p> <p>えっ、急に態度が違くないかって？ あはは、そうですねえ。 ぶっちゃけ……、</p> <p>『飽きちゃった』</p> <p>んですよー(笑)</p> <p>くすくすっ、どうしたんですか。 そんなにショックを受けちゃって……。</p> <p>……あっ、そっか。 先輩としては彼女さんと別れて、 私とキチンと付き合うつもりだった、とか？</p> <p>あ～、それは正直、ナイですー。 ナシナシのナシです♡ ていうか、思い返してみてください。 私は先輩とお付き合いしてあげるなんて、 一言も言ってないですよ？(笑)</p> <p>……ああ、そういえば“好き”とは言いましたっけ。 ふふっ……ふふふっ。 確かに先輩には好意があったし、 好きとも言ってあげましたけど。 もう過去の話なんですよ、それ♡</p> <p>なんていうか……私って“悪い子”なので。 他人のモノは欲しくなるけど、 手に入ったら興味がなくなるっていうか～。</p> <p>……ふふっ、大好きなんですよ。</p> <p>初 々 し い カ ッ プ ル を 破 滅 さ せ る の が♡</p>
	<p>(少しの間)</p>
愉しげな雰囲気	<p>くすっ、くすくすくすっ♡</p>

	<p>ごめんなさい、ビクビクさせちゃいました？</p> <p>先輩に彼女が出来たと聞かされたときには、 内心すっごくゾクゾクしてたんですよ。 彼女持ちの男の子を奪い取る快感、たまらないです……っ♡</p> <p>……後悔、してますか？ くすっ……でも、もう先輩は手遅れなんです……♡</p>
主人公に近づく	(効果音) 近づく足音
小馬鹿にしたような雰囲気	<p>だって、私のカラダに溺れる姿を あんなにしっかりと、自分から見せつけちゃったんだから。 彼女さん、とても悲しそうでしたね。</p> <p>……もう、絶対に寄りを戻すことなんて出来ない。 破滅しちゃったんです、先輩は♡</p> <p>だけど、そうだなあ。 異性としてはまったく魅力がないんですけどお、 一応同じ同好会の先輩なワケですし。 “別の部分”で私の興味を引いてくれたら、 劣情を処理するお手伝いくらいはオッケーですよ。</p> <p>……どういう意味かって？</p> <p>ふふっ……♡ ぜんっぜん魅力のない男の子が、女の子の興味を引く方法。 そんなの、限られてるじゃないですか……♡</p> <p>……お、か、ね♡</p> <p>お金ですよお、せーんぱい♡ 出すモノを出してくれたら、前みたいに “イイコト”をしてあげます♡</p>
	(少しの間)
立場を自覚させてお金を 出すように促す	<p>くすっ、なにを啞然としてるんです。 だって私、先輩の彼女でも何でもナイですもん。 哀しいですが、彼女持ちじゃなくなった先輩には、 私が愉しめるトコロがありません……。 残っているのは、美少女ゲーム好きの ただの“キモオタ”っていうマイナス要素だけ。</p> <p>……私のカラダで気持ちよくなりたいなら、 これはもう、十分な対価が必要ですよね……♡</p> <p>さ、分かったら早く持ち金を差し出してください。</p>

	<p>そうしたら、前みたいに先輩のお相手をしてあげます♡</p> <p>……なにをモタモタしてるんです？ 大切な彼女さんを裏切った先輩には、 もう私しか残ってないんですよ？ このうえ、私にまで見捨てられたら…… 先輩、マジで孤独です。</p> <p>イヤですよ、そんなの。 せっかく生身の女の子の良さを知ったのに。 すぐに新しい彼女を作るなんて、 陰キャの先輩には絶対にムリ……♡</p> <p>だから……私の言うことを素直に聞いて。 可愛い後輩のこと、援助して支えてください♡</p> <p>ほら、待っていてあげますから。 お財布からお金を取り出して、私の手のひらに乗せるんです♡</p> <p>さあっ……！</p>
お金を差し出す	(少しの間)
	<p>……くすっ、くすくすくすっ♡ ありがとうございます。 これで先輩に興味が持てそうです、私♡</p> <p>じゃあ先輩、いつもみたいに おちんぽを取り出して。 ガチガチに発情したトコロ、見せてみてください♡</p>
性器を取り出す	(少しの間)
愉しそうに小馬鹿にしながら	<p>……ちゃんとり出せましたか？</p> <p>ふ～ん……ふん、ふん。 ふふっ、やっぱり可愛らしいサイズ♡ 改めて見ると……平均よりかなり小さいかな？(笑)</p> <p>あっ、ごめんなさい♡ それでも頑張って勃起させて立派ですよ♡ そんなに欲情してもらえるなんて、私嬉しいな～～～(棒)</p> <p>……さてっ、それでは！ どうぞお好きに始めていいですよ♡</p>
	(少しの間)
	<p>えっ、私は脱がないのかって？ 当たり前じゃないですかあ、そんなつもり無いですよ。</p>

	<p>別に先輩のこと、好きじゃないですし～。 なのにカラダを許すなんてオカシイですよ♥</p> <p>っていうか、さっきも言ったじゃないですか。 ”お手伝いをするだけ”だって。 まあ、先輩相手だと……頑張っても”オナ見”までかな。</p> <p>……くすっ。 お金で興味を引いても、それがホントに限界なの。</p> <p>彼女持ちなら、他のオシンのモノを 奪い取る背徳感があつただけど。 もう先輩、な～んにも価値が残ってないしなあ(笑)</p> <p>いいでしょ？ 先輩、セズリは得意なハズだし。 私のこと、オカズにする分には別に構いませんよ♥</p> <p>……ほら、独りでシコッちゃいなよ。 おちんぽ握って、</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♥</p>
	(少しの間)
	<p>ふふっ、遠慮しないでいいですよ。 勃起してるってことは、結局射精したいってことでしょ？ 大丈夫、もらったお金の分の興味は残ってるから。 先輩のこと、ちゃ～んと見ててあげるよ……♥</p> <p>さあ、</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ♥</p>
	(少しの間)
	<p>……ふふふっ。</p> <p>私のことでアタマをいっぱいにしてね。 この唇の味とか……おっぱいの柔らかさ、 下の穴で繋がったときの感触……全部思い出して♥</p> <p>しこしこ、しこしこ、しこしこ～♥</p>
	(少しの間)
	<p>……先輩の想像の中で、 私はどんな姿にされてるのかなあ。</p> <p>組み敷いて屈服させて、生意気な顔を歪めさせてる？</p>

	<p>それとも……逆に先輩の方が、 私に縋りつく妄想だったりして……♡</p> <p>くすっ、ま、どっちでもいいや。 だってこの状況が全てだもんね。</p> <p>さあ、シコリ続けて。 ちゃんと私が実感させてあげる♡</p>
	(少しの間)
立場を言い聞かせるように	<p>ふふっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ♡ ……そう、これが先輩の現実。</p> <p>大切な彼女との仲を壊された挙句に、 その元凶である女の子の前でセンズリこいてる♡</p> <p>目の前にいる女の子は、自分を破滅させた相手なのに。 そんな子にセンズリ姿を見られて、 おちんぽはガチガチに勃起しちゃってる……♡</p> <p>……セックスでも何でもない。 触れてもらえもしない。</p> <p>なのに……先輩は、私の視線を浴びるだけで しこしこする手が止まらないでいる……♡</p> <p>しこしこ、</p> <p>しこしこ、</p> <p>しこしこ……っ♡</p>
	(少しの間)
	<p>……分かってる、先輩。 先輩は裏切っちゃったんだよ？</p> <p>この目の前の悪〜いオンナに絡め取られて、 まんまとフツの幸せを手放しちゃった。 災難だよな……でも、もう助からない。</p> <p>悪いオンナは、先輩の惨めなセンズリ姿を見て……</p> <p>財 布 と し て 使 い 潰 す こ と に 決 め ち ゃ っ た ♡</p> <p>だから、もう逃げられない。</p>

自慰をスマホで撮影	(効果音) カメラのシャッター音
	<p>……こうして、恥ずかしい証拠画像も撮られて。 先輩は壊れるまで、悪いオンナに利用されちゃうの……♡</p> <p>ふふっ、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(少しの間)
優しく誘惑するように	<p>……先輩、好きだよ。 お財布として、大好き……♡</p> <p>他のオンナから奪い取ったオトコを、 最期には金づるにするなんて。 ふふふっ、悪い後輩でごめんね、先輩……♡</p> <p>でも、先輩だって私のことが好きなんだよね。 だって、私は先輩の童貞を奪ってあげたオンナだもの。</p> <p>先輩の、</p> <p>初めてのオンナは、</p> <p>この私♡</p> <p>……お金さえ出し続ければ、 そんな子にずっと相手をしてもらえるんだよ。 なら……もうこの関係でもいいじゃん♡</p> <p>ね、しこしこ、しこしこ、しこしこ……♡</p>
	(少しの間)
優しく射精まで導く雰囲気	<p>……さあ、“どぴゅー”してみせて。</p> <p>彼女を裏切って、ごめんなさい、ごめんなさいって謝りながら、 悪〜い後輩のしている前で射精しちゃおうね♡</p> <p>ほら、</p> <p>ごめんなさい♡</p> <p>ごめんなさい♡</p> <p>だけど、“おてて”は止まらない♡</p> <p>しこしこ♡</p>

	<p>しこしこ♡</p> <p>しこしこ♡</p> <p>くすっ……は～い、</p> <p>どぴゅ——♡</p> <p>どぴゅぴゅ——♡♡♡</p>
射精タイム	(少しの間)
	<p>……ふふっ、ふふふふっ♡</p> <p>上手にセンズリできましたねえ♡</p> <p>あはは……やっぱり、先輩にはその姿がお似合いです。 美少女ゲーム好きなキモオタが、 現実で彼女を作るなんて、難易度高すぎたんですよ♡</p> <p>まあ、でも……また頑張って 誰かとお付き合いするなら応援しますよ。 そしたら、ご褒美にこのカラダを抱かせて、 抗えないくらいに溺れさせて……。</p> <p>くすっ……。</p> <p>何度でも破滅させてあげるから……♡</p> <p>くすっ、くすくすくすっ♡♡♡</p>